

アンケート結果のまとめ

- ①保護者の学校に対する満足感は非常に高い。生徒も「本校に入学してよかったです」「学校では楽しく充実した生活が送られている」と感じている生徒が多い。しかし否定的に感じている生徒も約 20%いるので、決して低い数字とはとらえずに要因を分析して改善につなげていきたい。
- ②P T A活動について約 20%の保護者が活発でない、20%が判断できないと答えている。十分に活動内容が伝わっていないので、ホームページや広報等でしっかり情報発信をしていきたい。
- ③保護者は授業が丁寧でわかりやすいかという質問に3分の1が不満を持っている。また、授業がよく理解できているかという質問に 45%の生徒は不満を持っている。授業内容や授業方法の改善に努めると共に、生徒の勉強に対する意識や意欲を高めていかねばならない。
- ④保護者の中に基礎学力や読書習慣を充分つけられていないという意見がある。また、家庭学習の時間を確保していると答えた生徒は3分の1しかないので、家庭学習の習慣をつけていく働きかけがより必要である。図書館の利用率も年々下がっているので、読書の時間や図書便り等で、本に接する機会を増やしていく。
- ⑤昨年度は3分の1の保護者が、教師が生徒の悩みに気軽に応じてくれていないと答えていたが、今年度はその割合が減った。今後も保護者との連絡を密に学校との連携をとっていきたい。
- ⑥昨年度は4割近い保護者が進路指導における家庭との連携や情報の提供に満足していなかったので、今年度は進路説明会や三者懇談会により丁寧に対応した。今後も生徒を通じての進路に関する連絡、事務手続き等がしっかりと行われるよう徹底していきたい。
- ⑦生徒は部活動が活発で充実していると感じているのが半数以下であり、保護者の中には部活動の活性化を望む声もある。部活動の活性化は学校としても大きな課題である。
- ⑧来年度より全教室にクーラーが設置され、学習環境がよくなるが、総合学科として4つの専門的な系列の施設・設備面では老朽化したものも多くあるので改善要求をしていきたい。
- ⑨生徒には、近隣の保幼小中学校との交流が不十分との意見がある。「出前実験」や「保育実習」などの交流をしているが、系列により差もあるので、種々の取り組みを広げていくように検討していきたい。
- ⑩コンピュータを使っての情報活用について十分でないと考える生徒が多い。タブレットが導入されたので、授業に取り入れて活用していくように、全教員で取り組んでいきたい。
- ⑪4分の1の生徒が怪我や病気の処置に満足していないが、保健室への来室が今年度急激に増えた。その原因を分析するとともに今後も怪我や病気の対処には万全を期していきたい。
- ⑫学校に対する美化意識の低い生徒が多い。毎日の清掃は一生懸命に行っているが、自分から進んで美化活動をしていこうという意識は低い。HRの時間、学校行事、生徒会活動、委員会活動等を利用して啓蒙していきたい。